

# 「Originを効率的に使うためのヒント10」 ご紹介する機能





## 1. 列を選択して自由に作図

# 列属性を設定して作図

Book1 \*

X Y Z NONE 0.12 0.12

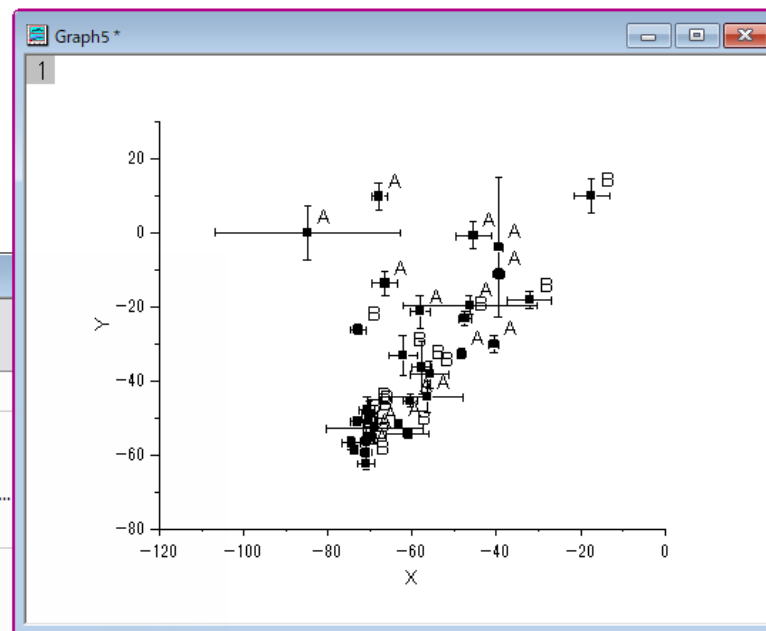
Xエラーとして設定

	A(X)	B(Y)	C(yEr ±)	D(xEr ±)	E(Y)
ロングネーム	X	Y	y-error	x-error	label
単位					
コメント					
F(x)=					
1	-60.97187	-54.31	1.339	5.08	B
2	-32.13	-18.19	2.34	5.224	B
3	-47.43409	-23.16832	1.833	1.61	B
4	-62.18	-33.02	5.346	3.31	B
5	-45.4489	-0.6			
6	-63.30346	-51.0			
7	-72.91694	-51.0			
8	-70.63826	-47.9			
9	-39.45167	-3.9			
10	-60.34988	-45.2			
11	-70.80036	-56.1			
12	-69.99789	-48.9			
13	-55.8298	-38.2			
14	-72.83	-			
15	-66.39551	-13.6			
16	-40.61477	-30.0			
17	-46.32439	-19.5			
18	-56.36294	-44.4			
19	-70.12096	-54.9			

Book1 \*

	A(X)	B(Y)	C(yEr ±)	D(xEr ±)	E(Y)
ロングネーム	X	Y	y-error	x-error	label
単位					
コメント					
F(x)=					
1	-60.97187	-54.31	1.339	5.08	B
2	-32.13	-18.19	2.34	5.224	B
3	-47.43409	-23.16832	1.833	1.61	B
4	-62.18	-33.02	5.346	3.31	B
5	-45.4489	-0.68672	3.624	4.163	A
6	-63.30346	-51.7208	0.9326	0.9639	A
7	-72.91694	-51.00924	0.97	1.8	B
8	-70.63826	-47.93352	3.56	1.829	B
9	-39.45167	-3.91766	18.82	0.91	A
10	-60.34988	-45.29026	1.79	1.61	A
11	-70.80036	-56.12727	1.25	1.61	B
12	-69.99789	-48.91459	3.49	1.78	B
13	-55.8298	-38.25094	3.63	4.472	B
14	-72.83	-26.14	1.359	1.868	B
15	-66.39551	-13.64655	3.165	3.06	A
16	-40.61477	-30.08014	2.43	1.18	A
17	-46.32439	-19.53718	2.59	15.93	A
18	-56.36294	-44.42598	4.2	8.41	A
19	-70.12096	-54.93848	1.02	0.83	A

属性の設定をしておけば  
データを選択してすぐに作図



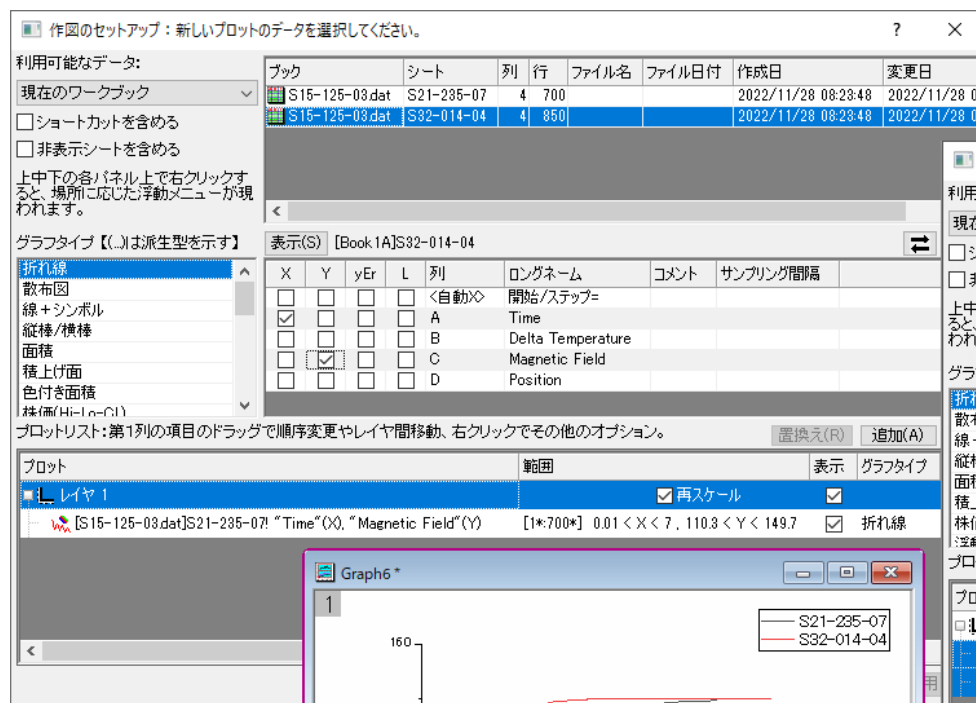
- 作図
  - 切り取り
  - コピー
  - 列をコピー...
  - 貼り付け
  - 挿入
  - 削除
  - クリア
  - リンクを削除(U)...
  - 列 XY 属性の設定
  - カテゴリとして設定(G)
  - 列値の設定... Ctrl+Q
  - ユーザ式
  - 列値の一律設定
  - ソート(列)
  - ソート(ワークシート)
- ラベル列
- 無属性
- Xエラーバー
- Yエラーバー



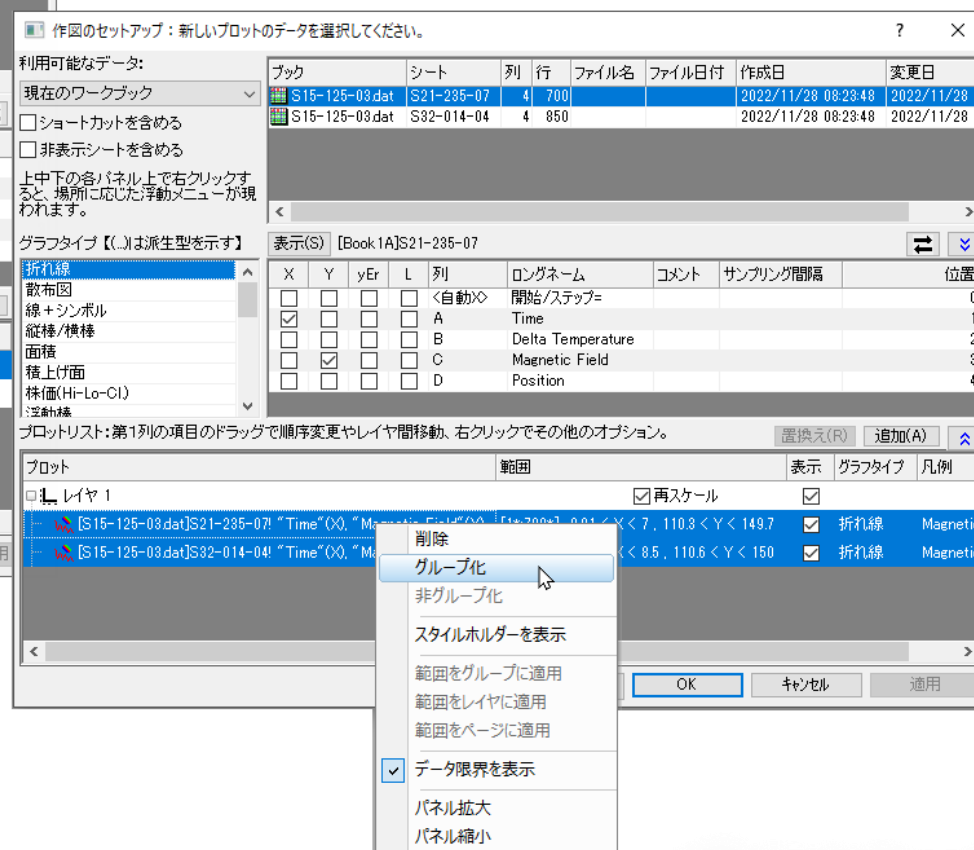
## 1. 列を選択して自由に作図

# 作図のセットアップで列属性を設定せずに作図

列を選択せずに  
作図メニューから  
グラフタイプを選択



別のシートやブックのデータを  
一緒に作図することも





## 2. ドラッグ & ドロップでプロット追加

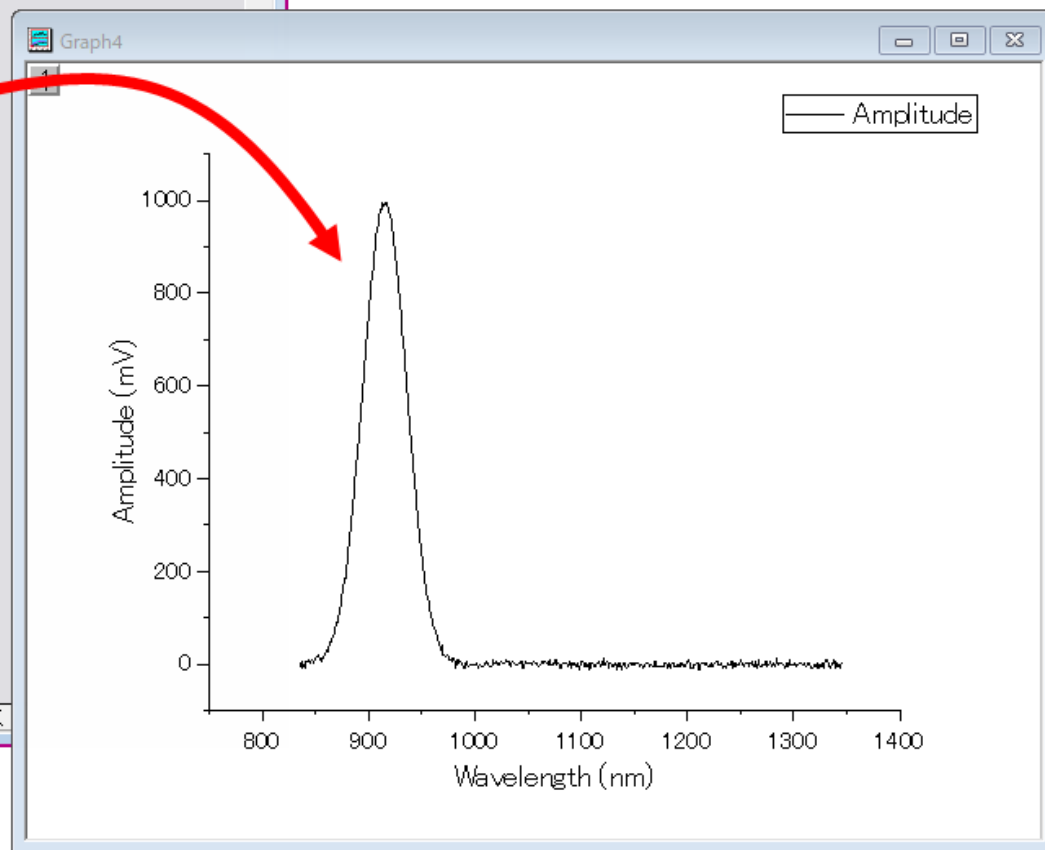
### 作成済みのグラフにデータプロットを追加

T365K - T365K.csv

	A(X)	B(Y)
ロングネーム	Wavelength	Amplitude
単位	nm	mV
コメント		
F(x)=		
スパークライ		
1	835	0.690
2	836	-7.82
3	837	-7.036
4	838	-2.067
5	839	2.044
6	840	-0.762
7	841	-0.364
8	842	4.352
9	843	-6.142
10	844	9.098
11	845	1.261
12	846	7.649
13	847	1.847
14	848	-5.732
15	849	-6.049
16	850	-11.354
17	851	-3.173
18	852	-7.597
19	853	-4.154
20	854	1.715
21	855	-1.932
22	856	7.218
23	857	2.293

T275K T285K T295K T305K

別のシートやブックのデータを  
一緒に作図する際にも便利



ORIGINPRO®



LightStone®

株式会社ライトストーン



### 3. グラフの文字フォントを簡単に変更

## グラフテーマを使用

The screenshot displays the OriginPro software interface. On the left, the 'Theme Organizer' dialog box is open, showing a list of themes. The 'Times New Roman Font' theme is selected, and the '複製(U)' (Copy) button is highlighted. The '現在のシステムテーマ' (Current System Theme) is 'Light Grids'. On the right, a 'Normalized Bullet Chart' titled 'Norway Food Consumption Compared to Europe' is shown. The chart compares consumption levels for various food items (Fruits & Vegetables, Nuts, Starch, Cereals, Fish, Milk, Eggs, White Meat, Red Meat) against a maximum consumption level, average consumption, and consumption in 50% and 25% of European countries. The chart uses a color scheme where darker shades represent higher consumption levels.

環境設定(R) 接続(N) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

オプション(O)... Ctrl+U

システム変数(L)...

3D OpenGLの設定(E)...

インポートフィルタ・マネージャ(I)...

テーマ・オーガナイザ(H)... F7

カスタムメニュー・オーガナイザ(R)...

メニュー(M)

フローティングウィンドウ(F)...

グループフォルダの作成(C)...

グループフォルダの削除(D)...

ユーザファイルの移動(M)...

シート保護オプション(O)...

テーマ・オーガナイザ

新しいグラフが作られた時、システムテーマを自動的に適用することができます。

現在のシステムテーマ: Light Grids

右クリックでシステムテーマを設定または他の操作を選択

グラフ システム推奨リスト ワークシート ダイアログ 関数

名前	サイズ	パス	日付
Physical Review Letters	20	System	2018/11/01 17:06
Plot Group Simple Line + Symbol	6	System	2018/11/01 17:06
Plot Group Simple Scatter	5	System	2018/11/01 17:06
profile_cline_x1	8	System	2018/11/01 17:06
profile_cline_x2	8	System	2018/11/01 17:06
profile_hline_x1	9	System	2018/11/01 17:06
profile_hline_x2	9	System	2018/11/01 17:06
profile_sep_x1	5	System	2018/11/01 17:06
profile_sep_x2	5	System	2018/11/01 17:06
profile_vline_x1	10	System	2018/11/01 17:06
profile_vline_x2	10	System	2018/11/01 17:06
Speed Mode OFF			
Speed Mode ON			
Ticks All In			
Ticks All Out			
Ticks YL XB Out YR XT In			
Times New Roman Font			

新規に追加(N)

編集(E)...

削除(D)

複製(U)

合併する(B)

システムテーマに設定(S)

システムテーマのクリア(C)

☒ ツールチップを表示(T)

今すぐ適用(A)

適用を元に戻す(U)

閉じる(C)

複製して他のフォントのテーマを作成することも



## 4. ユーザファイルフォルダって何？

# 様々なファイルを保存する際のデフォルトのフォルダ

The screenshot displays the OriginPro interface with several windows open. The 'Graph1' window shows a 3D surface plot. The 'Utilities#File: template\_saves' dialog box is open, showing the 'File name' field set to 'test' and the 'File type' set to 'OTPU'. The 'File path' field is highlighted with a red box, showing the default path: 'C:\Users\#tsukihashi\Documents\#OriginLab\User Files\'. The 'Help' menu is also open, showing the 'Folders' option selected, which has opened a sub-menu where 'User Files Folder' is highlighted.

このようなテンプレートへのプロットはシートでのデータ選択は無視されます。

一致条件: オフセット

ファイルパス: C:\Users\#tsukihashi\Documents\#OriginLab\User Files\

プレビューイメージ(オプション):

システムテーマとシステム推移リストを優先: ☐

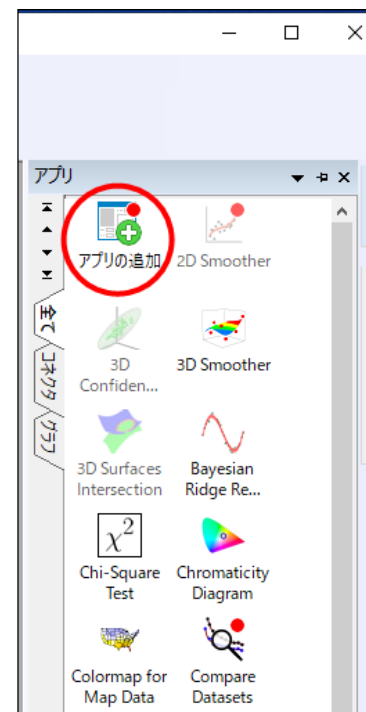
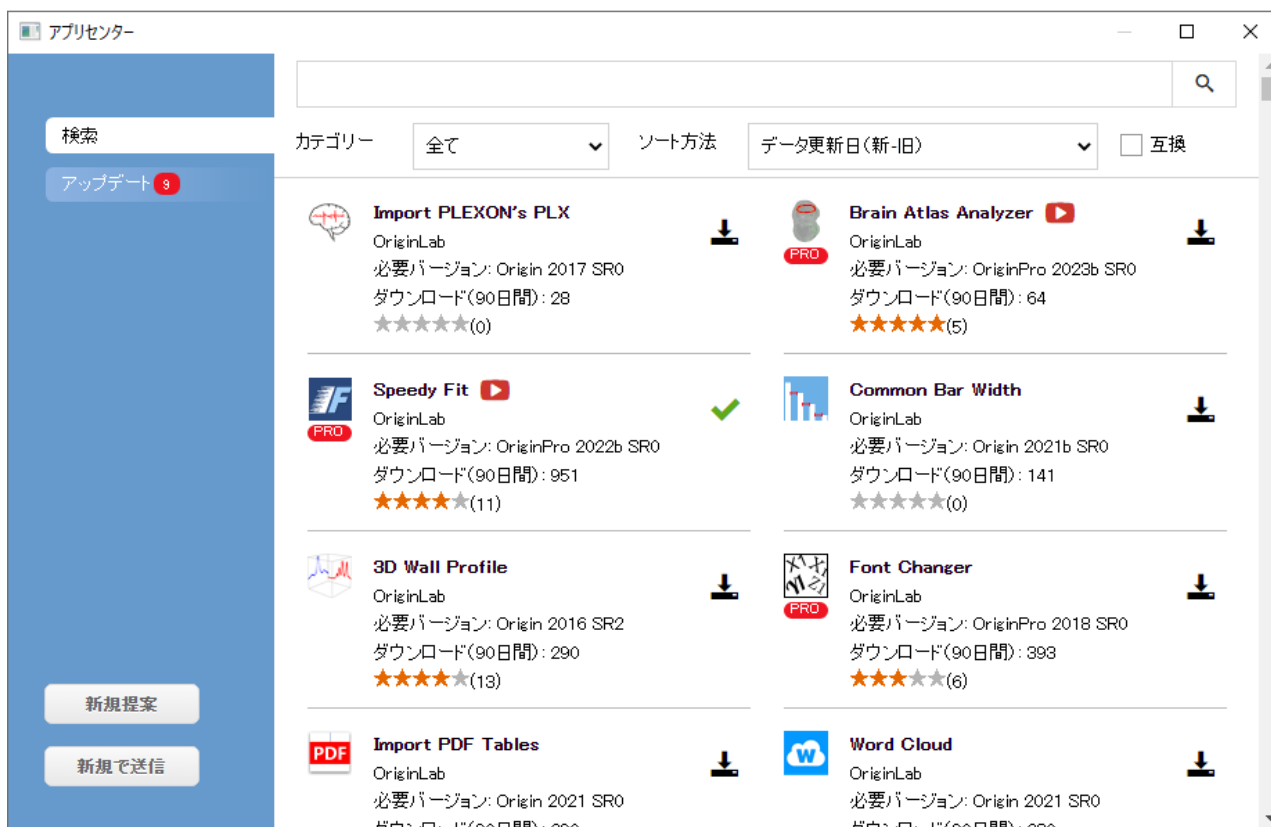
ヘルプ(H)

- オンラインヘルプを使用(U)
- Origin(Q)
- プログラミング(P)
- ラーニングセンター(E)... F11
- トレーニングビデオ(V)
- その他の資料(S)
- フォルダを開く(E)
  - サンプルフォルダ(M)
  - ユーザファイルフォルダ(U)
  - プログラムフォルダ(P)
  - プログラムデータフォルダ(D)
  - アプリケーションデータ(A)
  - 自動保存(S)
  - プロジェクトのバックアップ(B)
  - 非保存のプロジェクト(U)
  - 現在のプロジェクト(C)
- ヘルプファイルを取得/アップデートのチェック(C)...
- 登録情報の更新(R)
- フィードバックの送信...
  - 同様にOriginを紹介する(I)...
- ライセンスのアクティブ化(U)...
- ライセンスの取り外し...
- 表示言語(L)...
- 全てのヒントの復活(H)
- 確認メッセージの復活(M)
- スタートメニューをアクティブにする F1
- バージョン情報(A)...



## 5. アプリの検索とインストール

無料で利用可能なアプリを使って機能を拡張



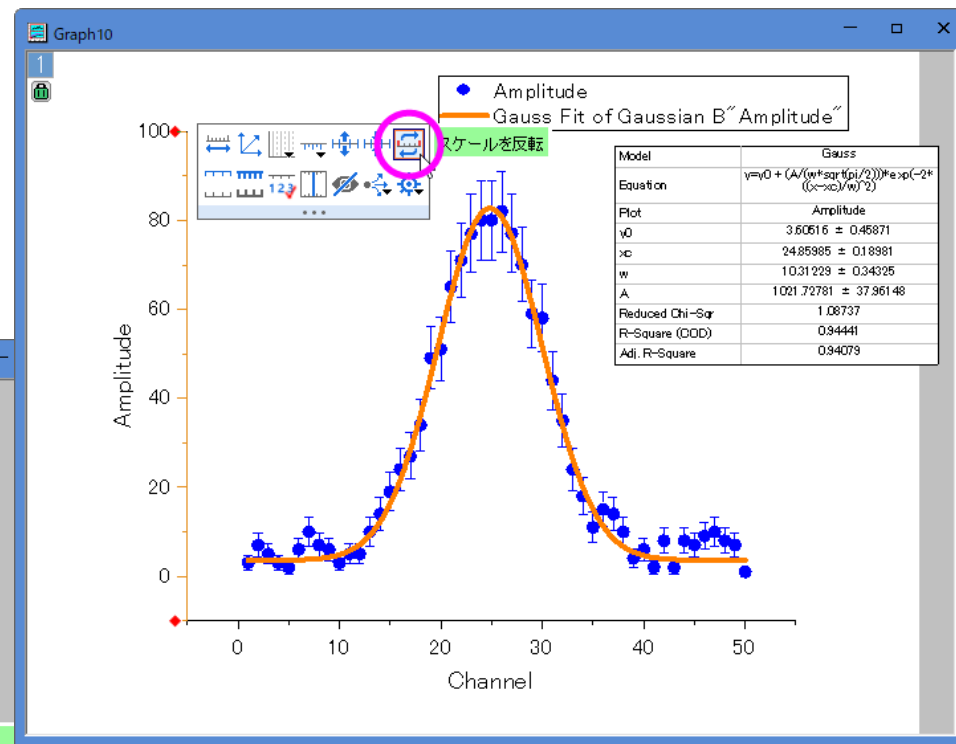
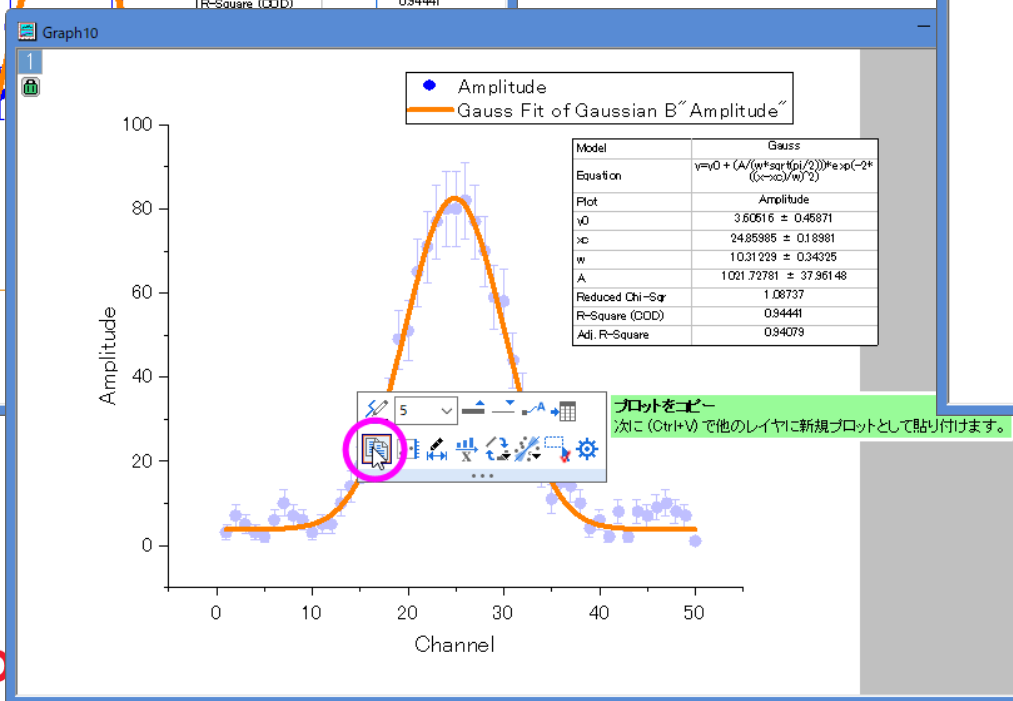
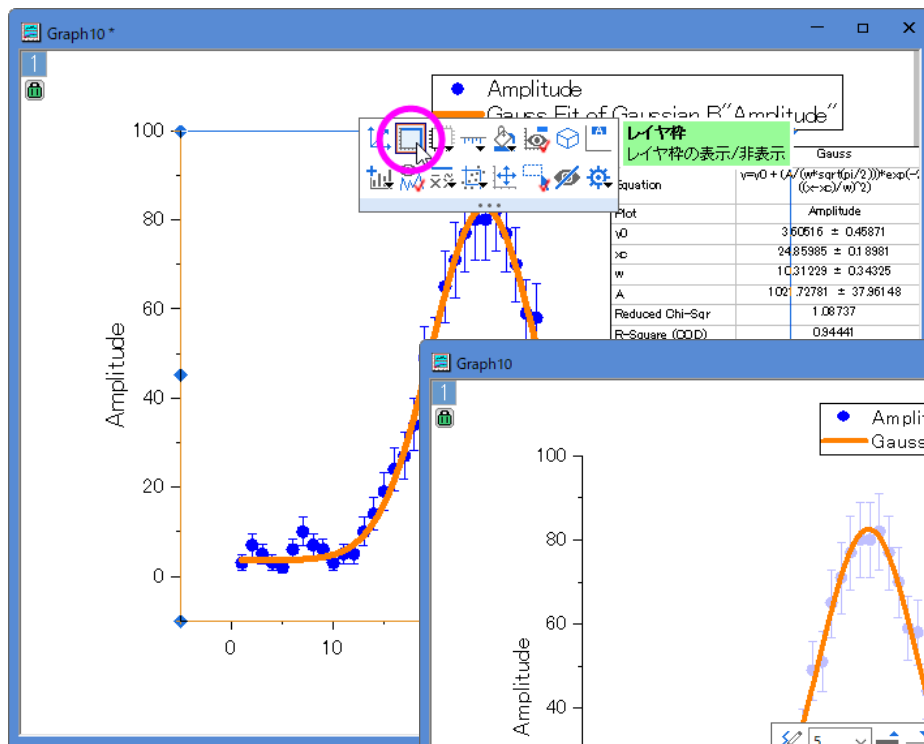
ライトストーンおすすめアプリはこちらから

<https://www.lightstone.co.jp/origin/apps/index.html>



## 6. 便利なミニツールバーボタン5選

# レイヤ枠、プロットコピー、スケール反転



貼り付け先のグラフで  
Ctrl+Vキーで貼り付け



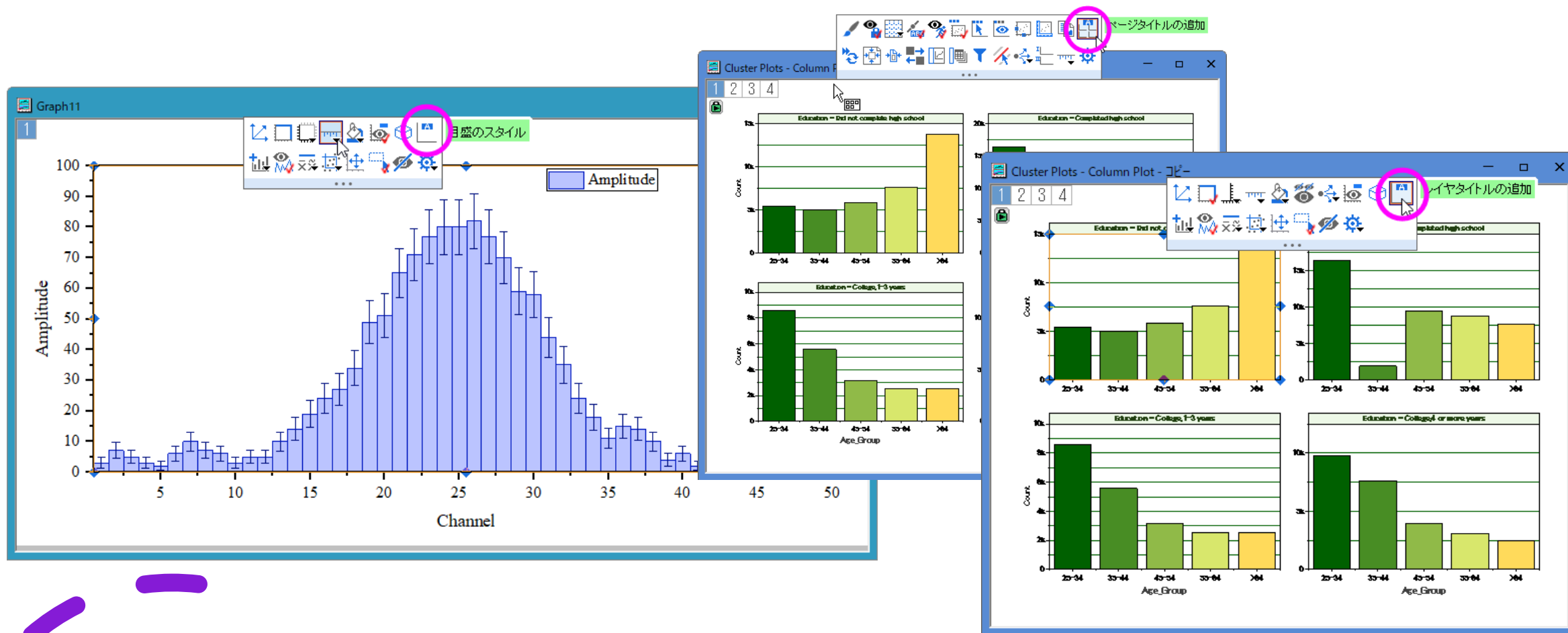
ORIGIN





## 6. 便利なミニツールバーボタン5選

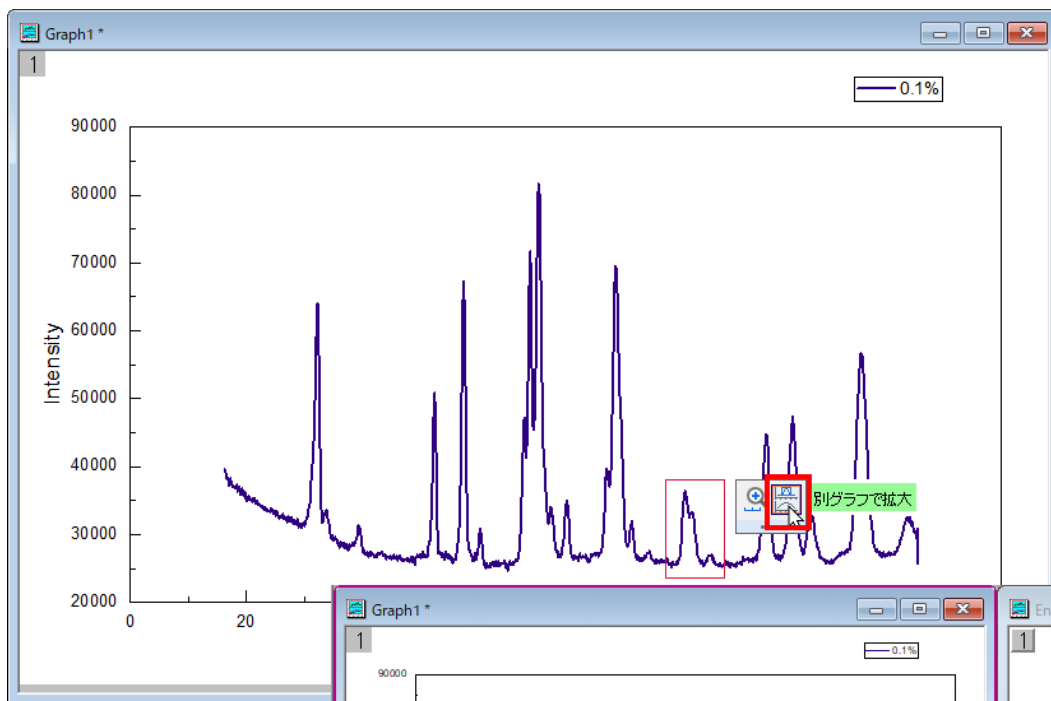
### 目盛スタイル、グラフまたはレイヤタイトル





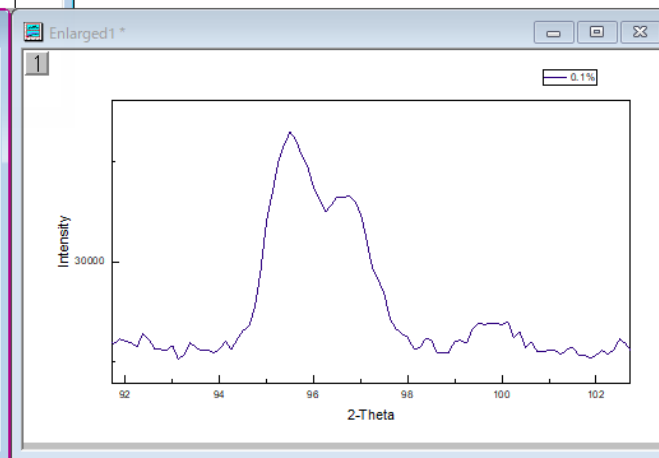
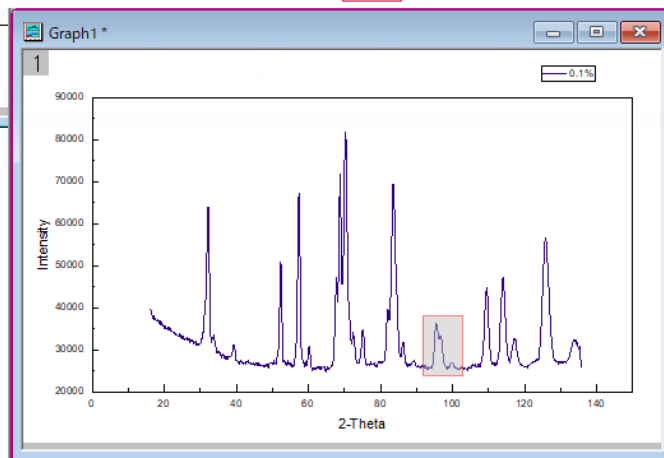
## 7. 拡大グラフとズーム

# 作図したグラフの拡大グラフを作成



＜2023bより前のバージョン＞  
左側のツールバーにある「スケールイン」ボタンをクリックし、Ctrlキーを押しながら拡大したい範囲をドラッグして囲むと、同じように拡大グラフが作成

元のグラフに表示された矩形を  
サイズ変更/移動すると拡大  
グラフの表示も更新



▶ 動画で操作を確認  
<https://youtu.be/9O3ocAKqItg?si=-4eNE2gru1kEzWcp>

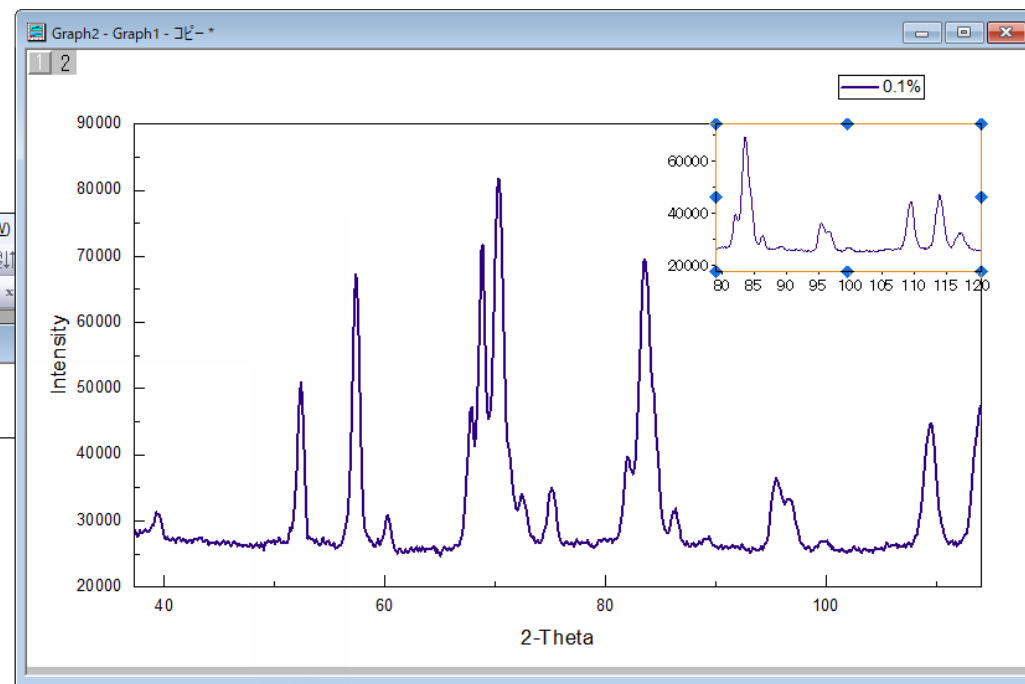
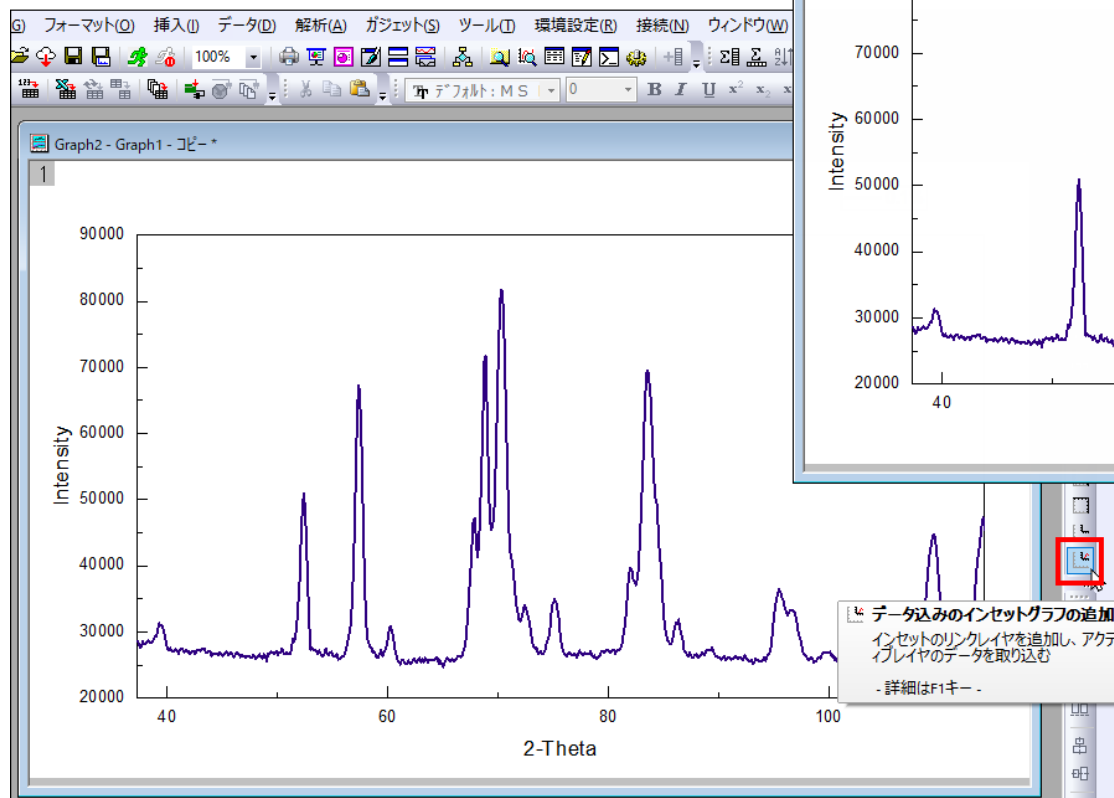


## 7. 拡大グラフとズーム

# グラフのズームとパン/インセットグラフ

<ズームとパンのショートカットキー>

- X方向で拡大/縮小→Z+マウスのホイールを回転
- X方向のパン（移動）→X+マウスのホイールを回転
- Y方向で拡大/縮小→Shift+Z+マウスのホイールを回転
- Y方向のパン（移動）→Shift+X+マウスのホイールを回転



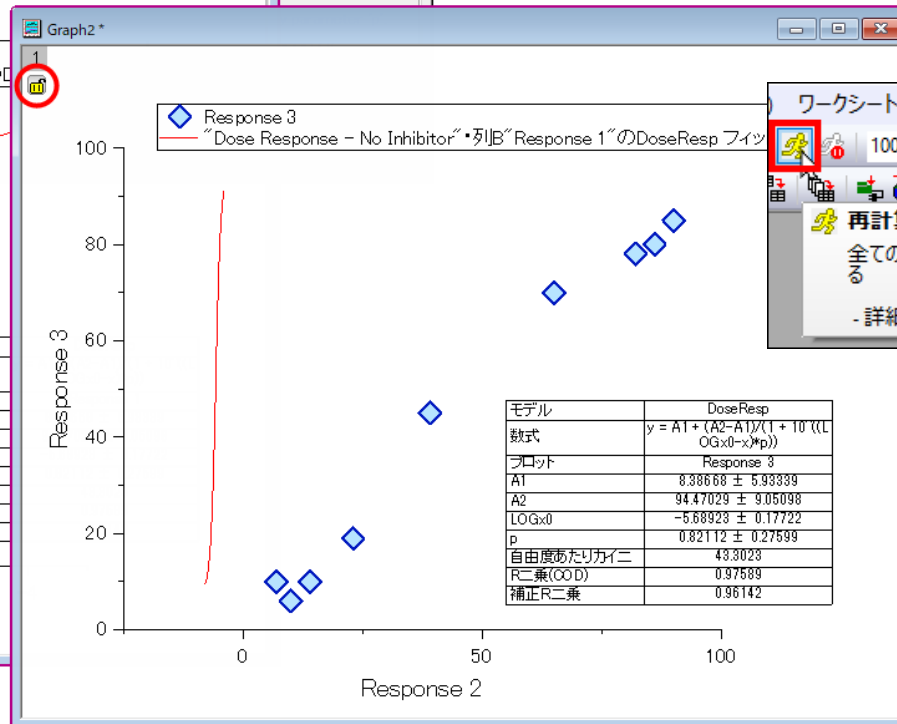
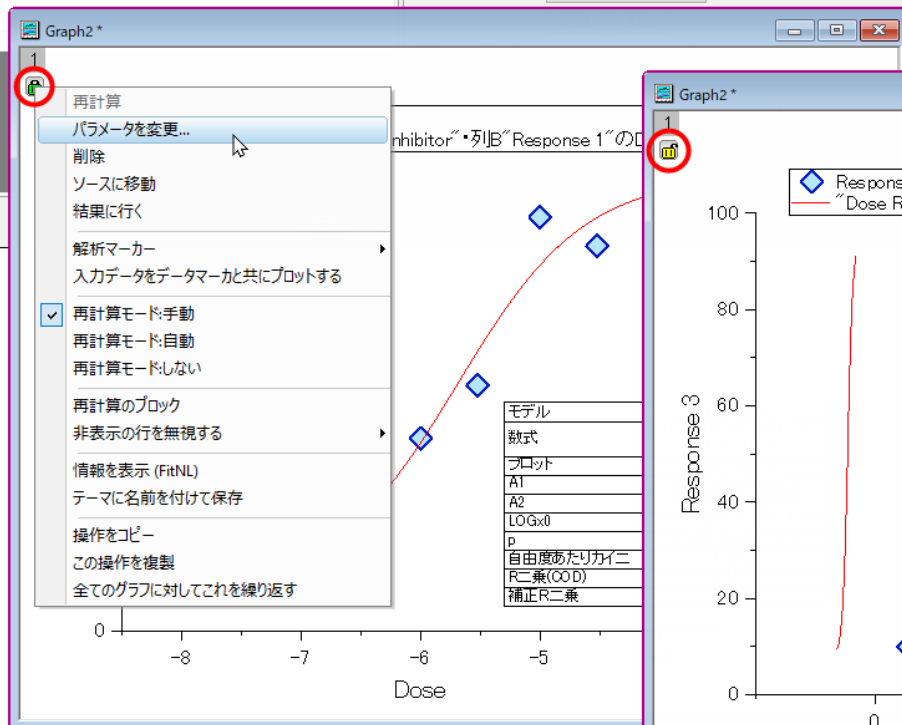
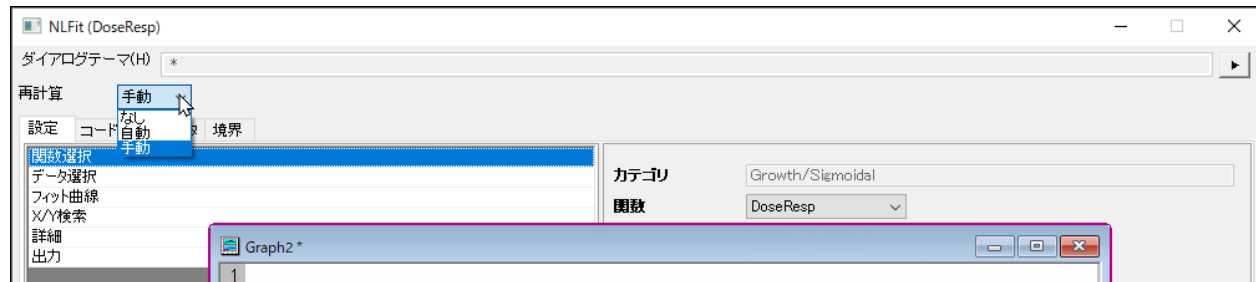
▶ 動画で操作を確認

<https://youtu.be/9O3ocAKqItg?si=-4eNE2gru1kEzWcp>



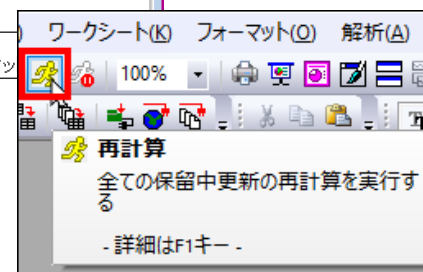
## 8. 緑のカギマークと再計算モード

### 設定を更新して再実行



アイコン	種類	意味
	自動	結果は自動的に更新されます。
	手動	必要なときに手動で更新を実行します。
	従属	他のデータ（通常は左にある列）の再計算モードにしたがって制御されます。

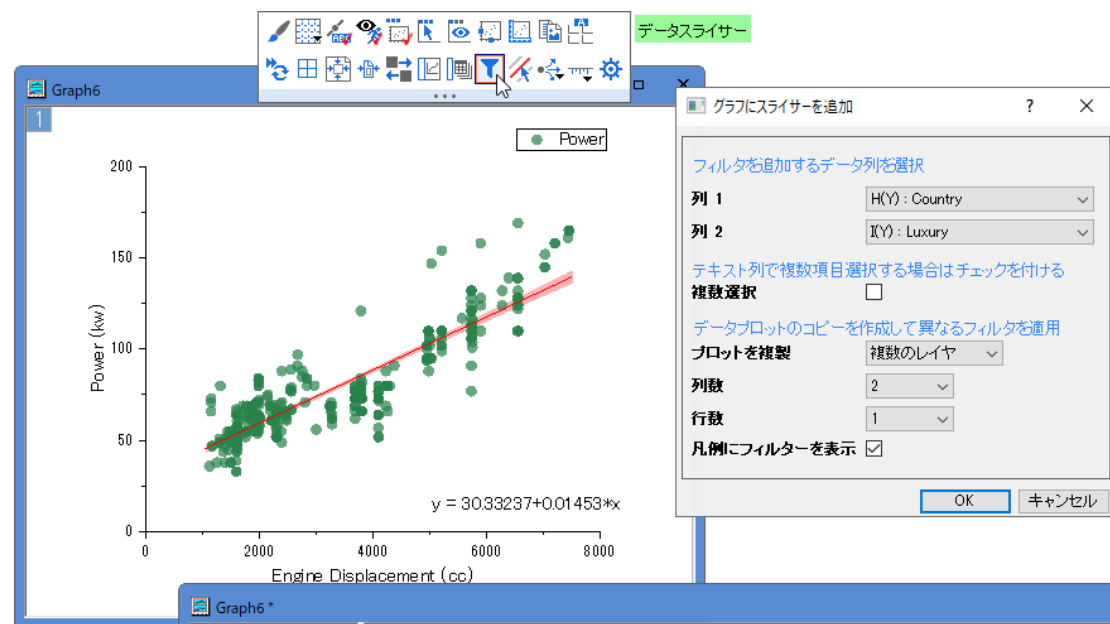
※更新が必要な場合、アイコンが黄色 に変わります。



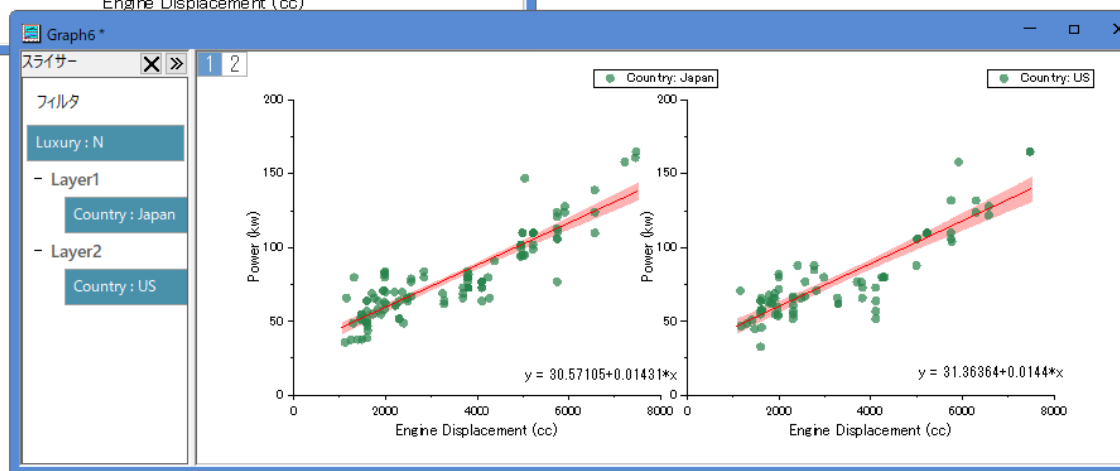
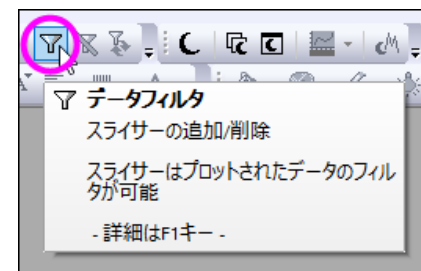


## 9. グラフ上でデータ絞り込み

# スライサー機能で様々な条件でデータ比較



「データ：スライサー」メニューや  
ツールバーの「データフィルタ」からも利用可能

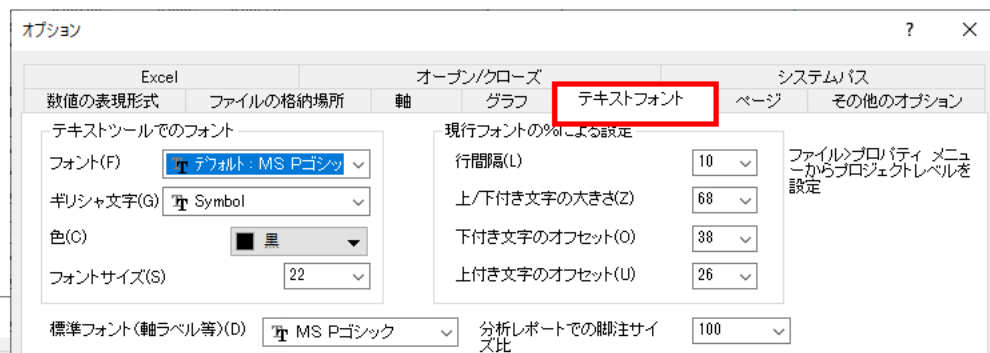
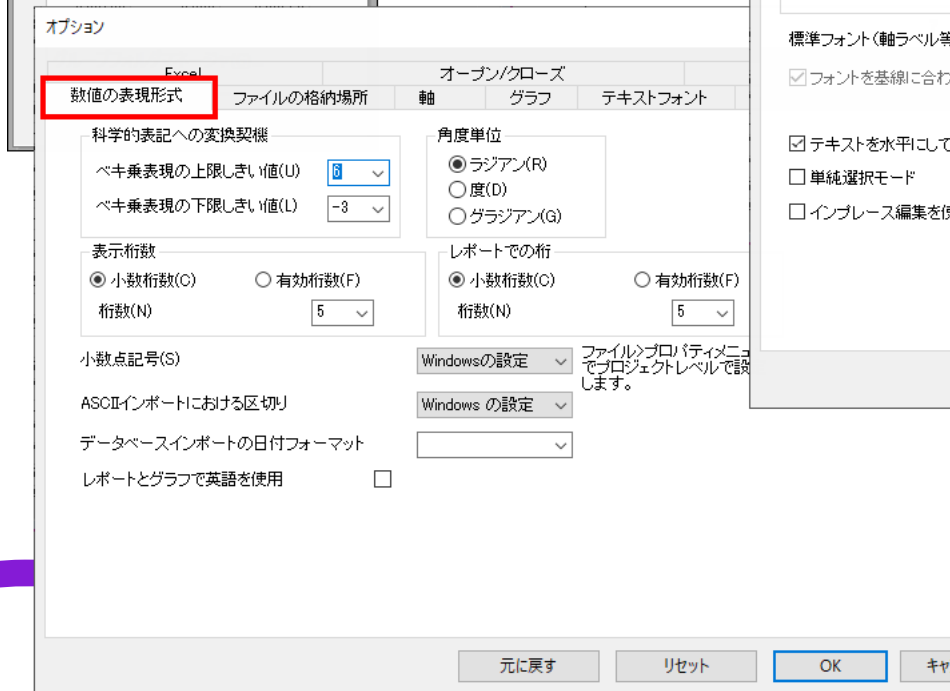
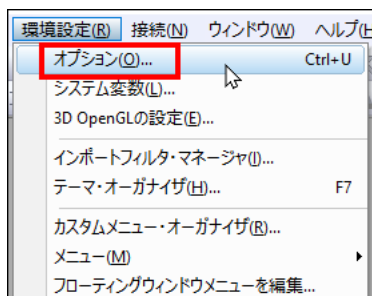


▶ 動画で操作を確認  
[https://youtu.be/Xkx7MF9zg\\_y4?si=UuZMwpPN3A0JyWw6](https://youtu.be/Xkx7MF9zg_y4?si=UuZMwpPN3A0JyWw6)

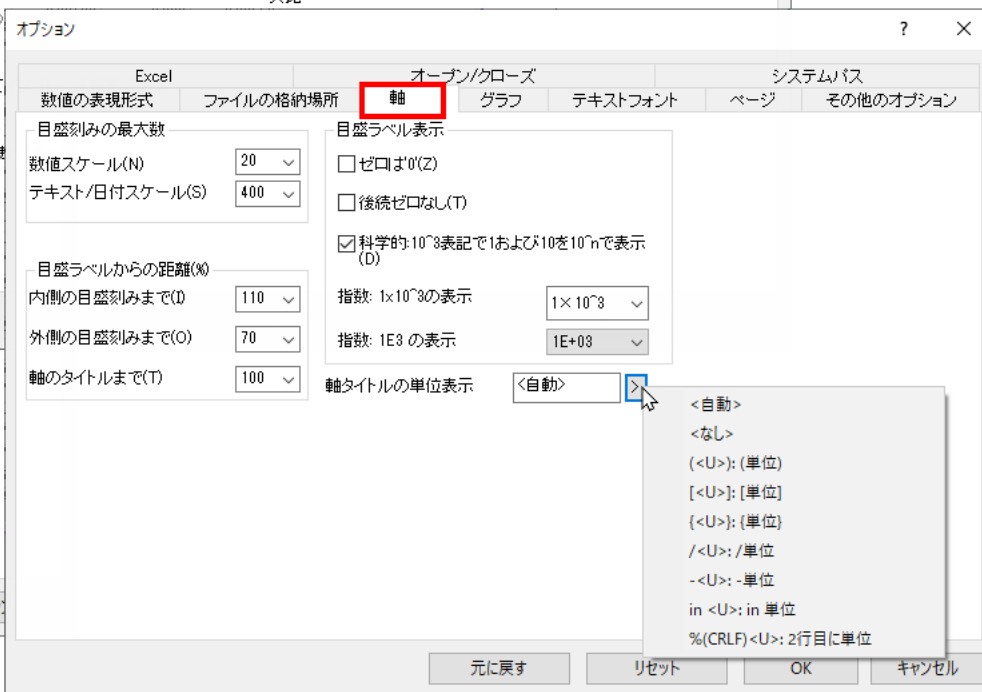


## 10. オプションダイアログ

# Originの様々な初期設定を指定



「リセット」で  
元の設定に



ORIGIN PRO®

Stone®

株式会社フイトストーン

# 資料





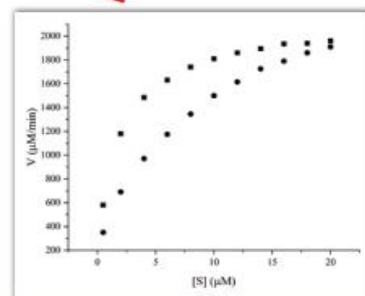
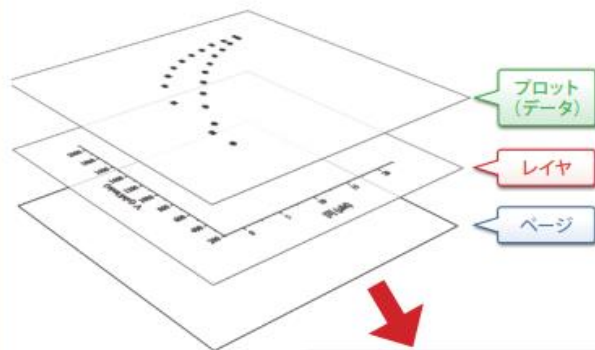
# グラフの構成

04

## グラフの構成

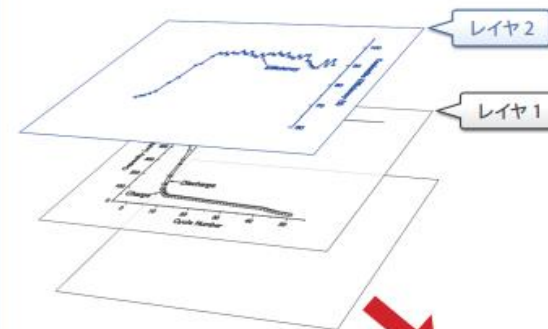
Origin のグラフは、ページ、レイヤ、プロット（データ）で構成されています。

- **ページ**：ウィンドウ内の白い領域。ページ外にある項目は印刷やエクスポート時には含まれない。
- **レイヤ**：1 対の XY 軸で構成される領域。軸は上下左右にあり、非表示にもできる。
- **プロット（データ）**：データをレイヤ内に描画したもの。

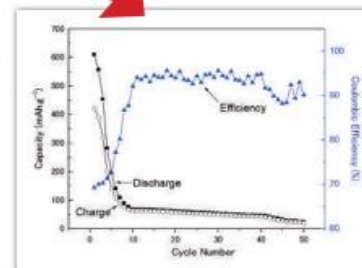


18

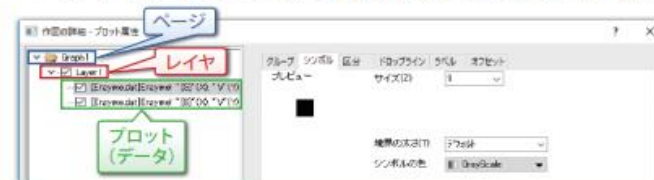
Origin ではレイヤを重ねたり、並べたりすることで多軸グラフ、積み上げグラフ、複数区分グラフなどを作成しています。



このグラフのように、複数 Y 軸のグラフでは X 軸のスケールを同じ設定にすることができます（軸リンク）。詳細は P.31 を参照してください。



グラフをダブルクリックして開く「作図の詳細」ダイアログでは、ページ、レイヤ、プロットを切り替えて編集できるようになっています。



19

OriginPro スタートガイドより (P.18、19)

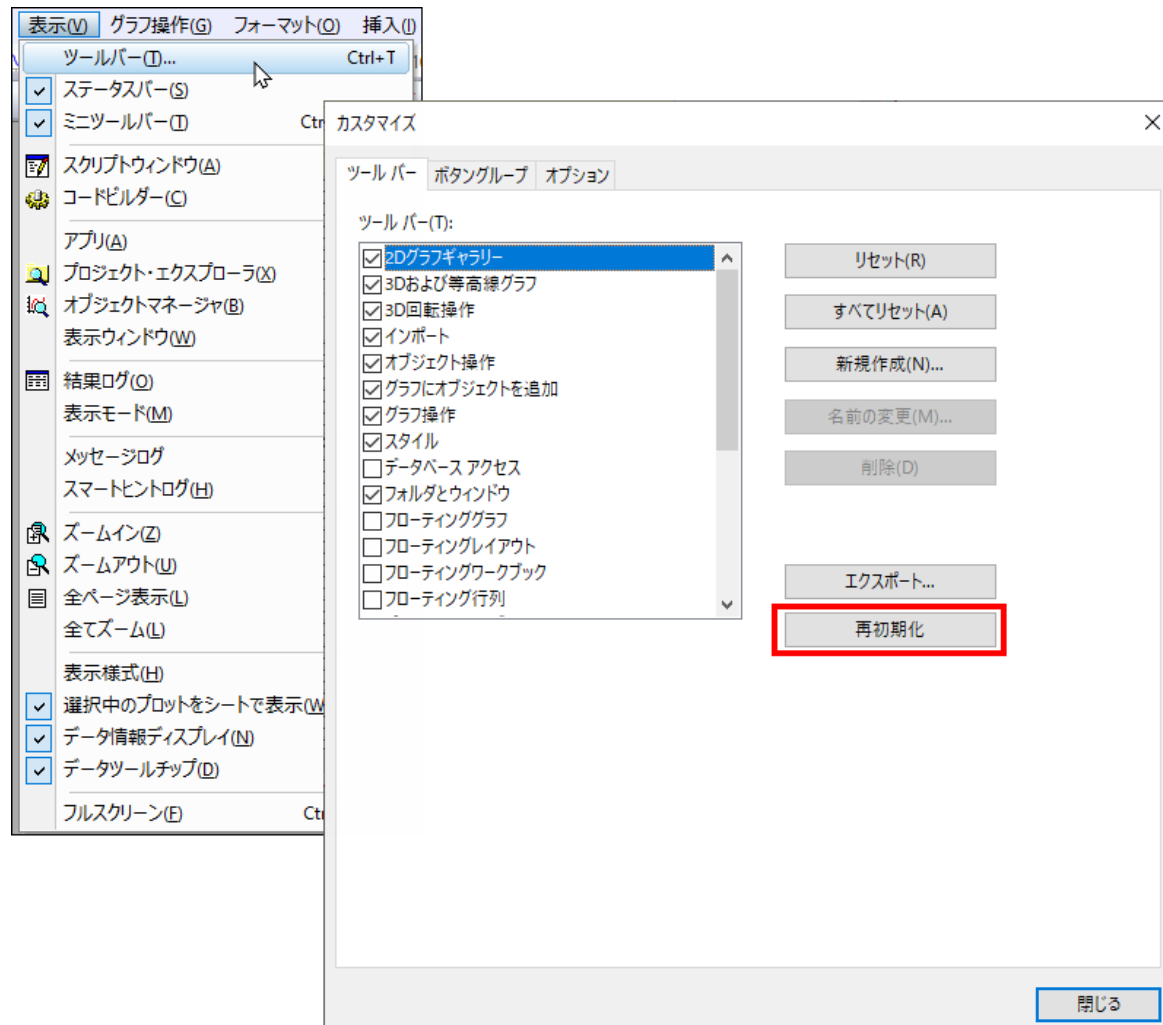
[https://www.lightstone.co.jp/pub/origin/originpro\\_startguide.pdf](https://www.lightstone.co.jp/pub/origin/originpro_startguide.pdf)





# ツールバーやウィンドウを初期化

プロジェクトエクスプローラーなどを失くした場合（誤って閉じた場合など）、またはデータ情報ウィンドウを失った場合は、OriginのGUIをリセットしてデフォルトの場所に復元できます。



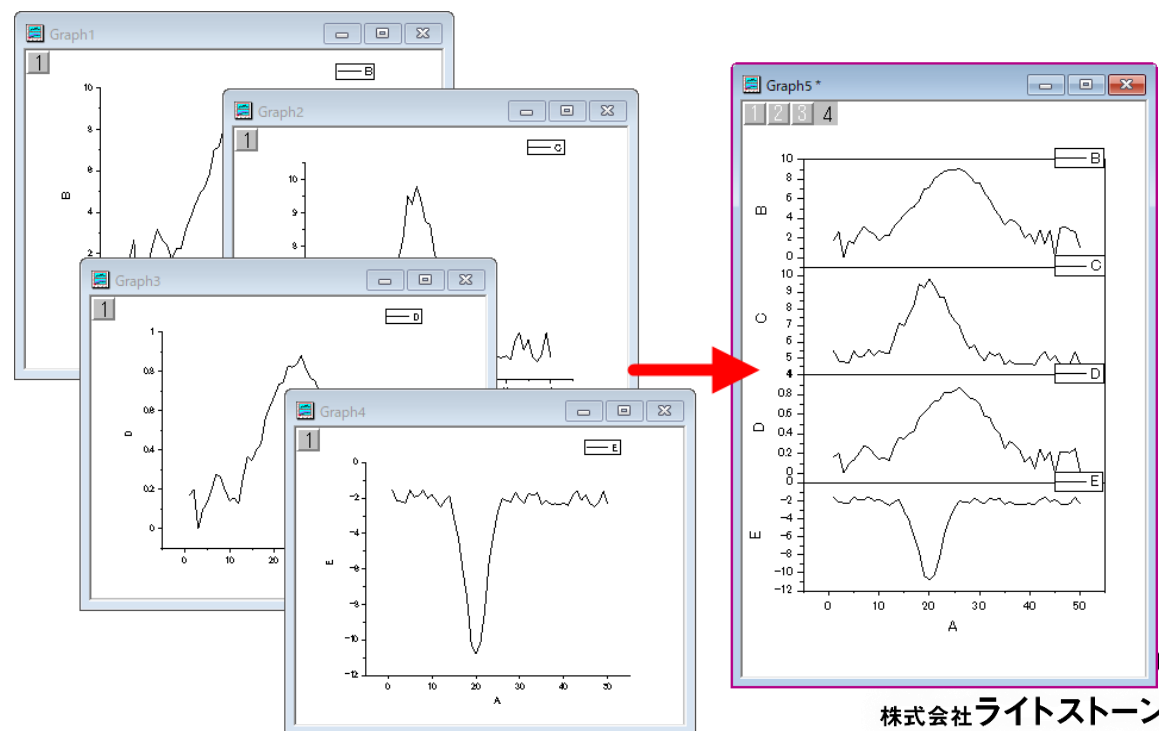
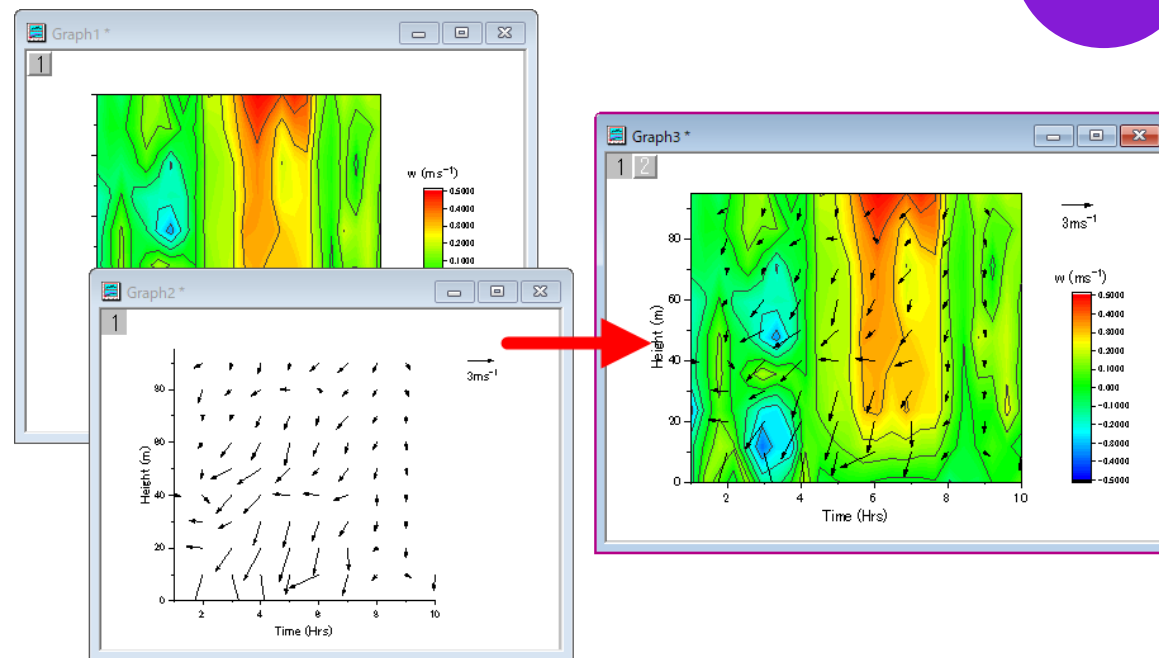


# グラフウィンドウの統合

すでに作成されている複数のグラフウィンドウを統合して重ね合わせたり、積み上げることができます。

[詳細はこちらのページ>>](#)

※動画もあります

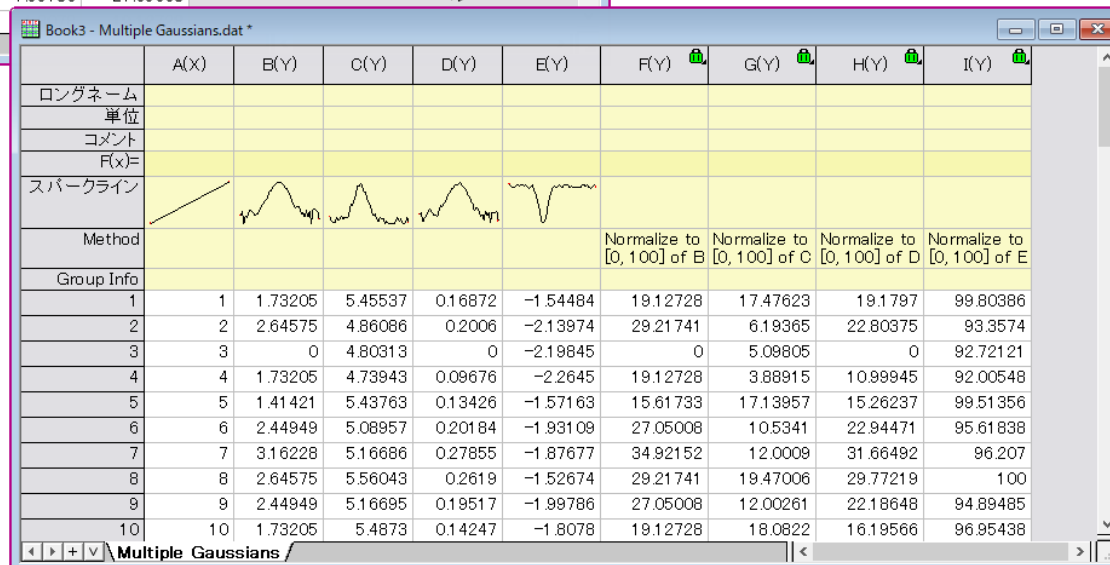




# 一度実行した処理をかんたんに繰り返す



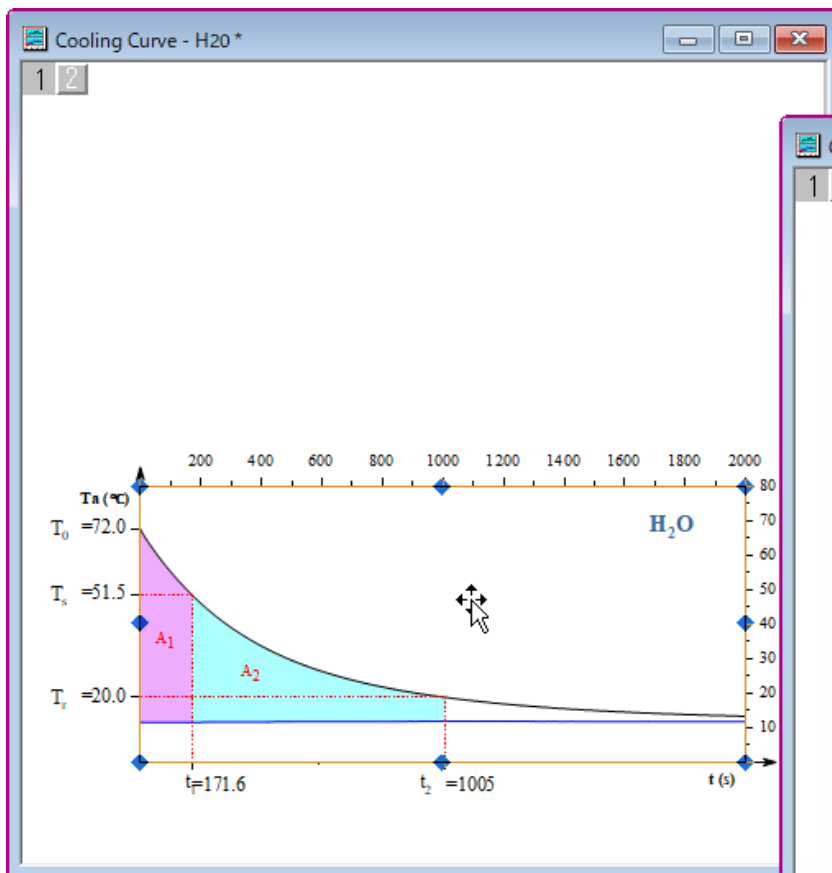
1つのデータセットで実行した分析処理を他のすべてのデータに対して繰り返し実行



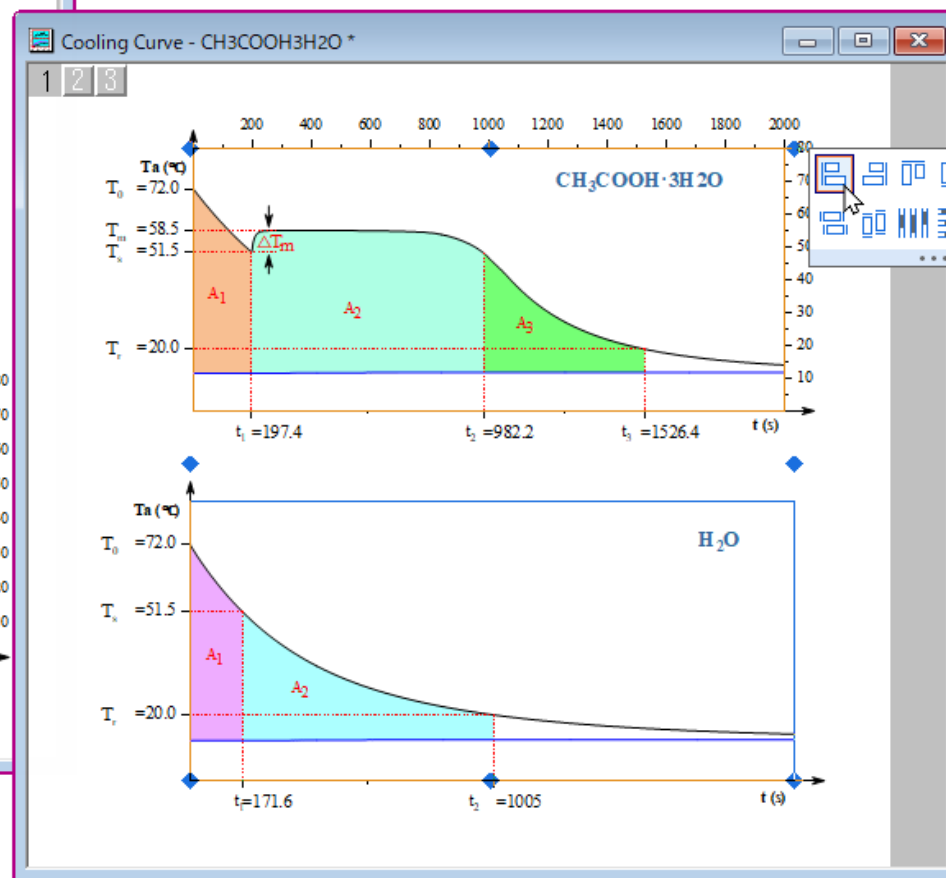


# レイヤのコピー & ペースト

①コピーするレイヤを選択後Ctrl+Cキー



②貼り付け先のグラフでCtrl+Vキーで貼り付け



③Shiftキーで複数レイヤ選択後、ミニツールバーで整列可能

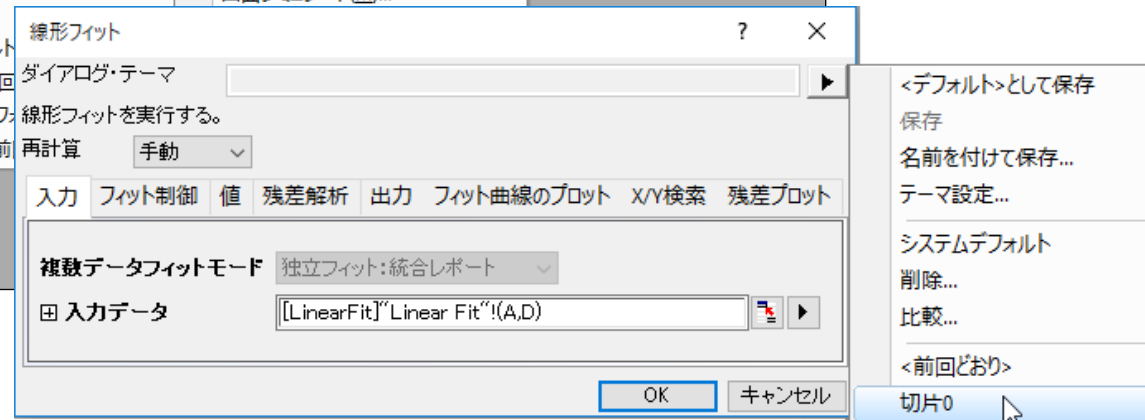
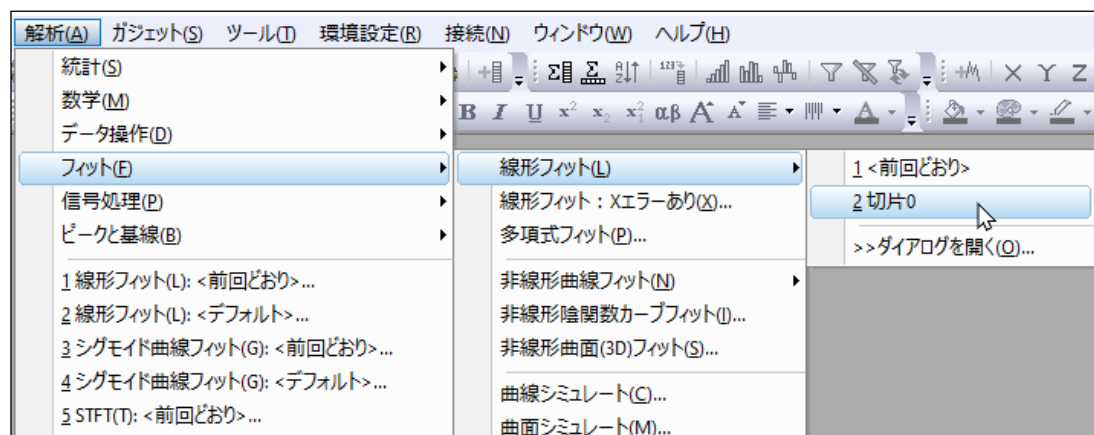
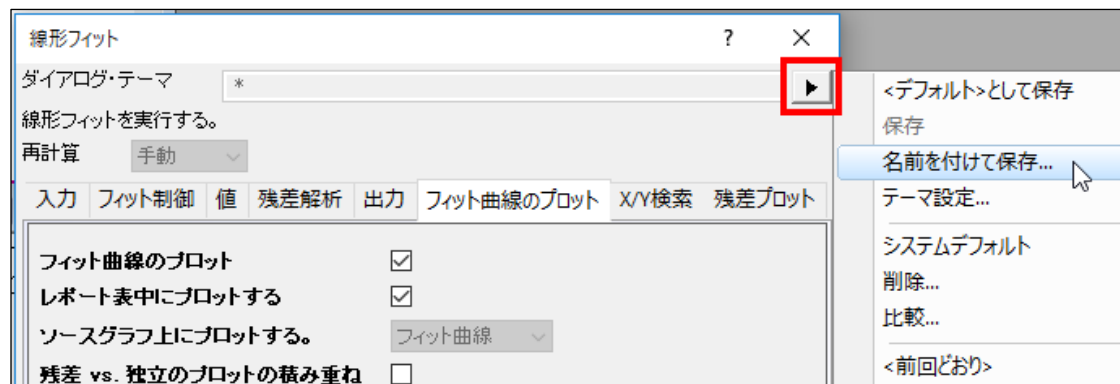


# ダイアログテーマ

Originでデータ分析を効率良くするための仕組みの一つです。

カーブフィット機能やFFTなどの信号処理、統計機能といったほとんどの分析およびデータ処理ダイアログボックスでの設定内容を保存でき、同じ分析操作をする際に保存したテーマを呼び出して簡単に実行できます。

[詳細はこちらのページ>>](#)

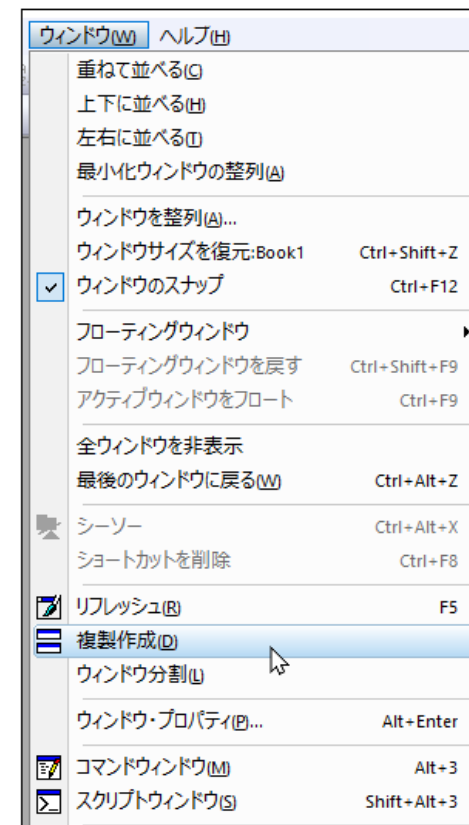
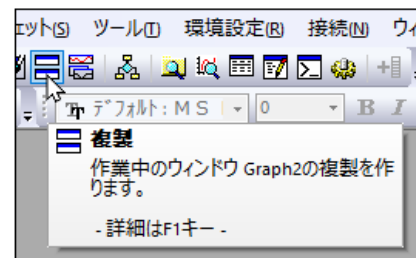
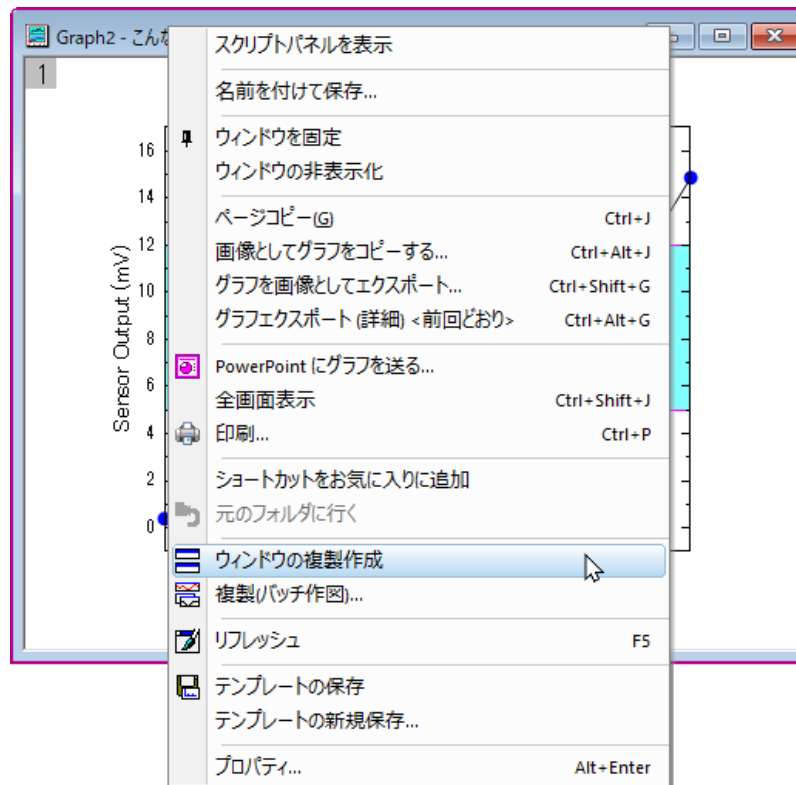




# ウィンドウの複製作成

「ウィンドウの複製作成」機能でグラフを複製しておくと、編集操作で何か失敗してもすぐに元の状態に戻せるので便利です。

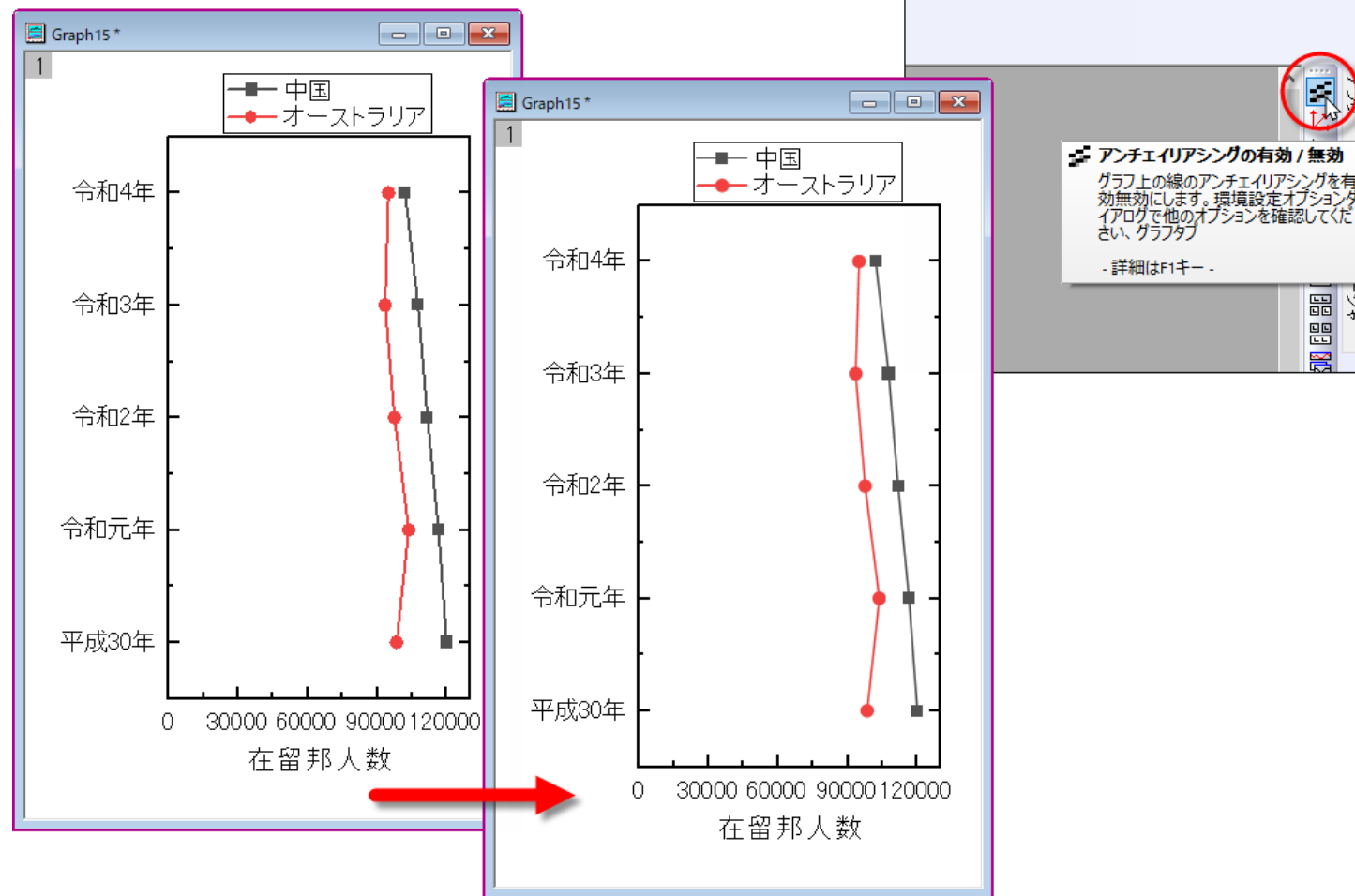
グラフウィンドウ以外でもワークブックや行列ウィンドウなどでも複製できます。





# アンチエイリアシング

Originの右側のツールバーにある「アンチエイリアシングの有効/無効」ボタンをクリックすると、画面上のグラフの線やシンボルなどの輪郭に見られる階段状のギザギザの表示を目立たなくできます。



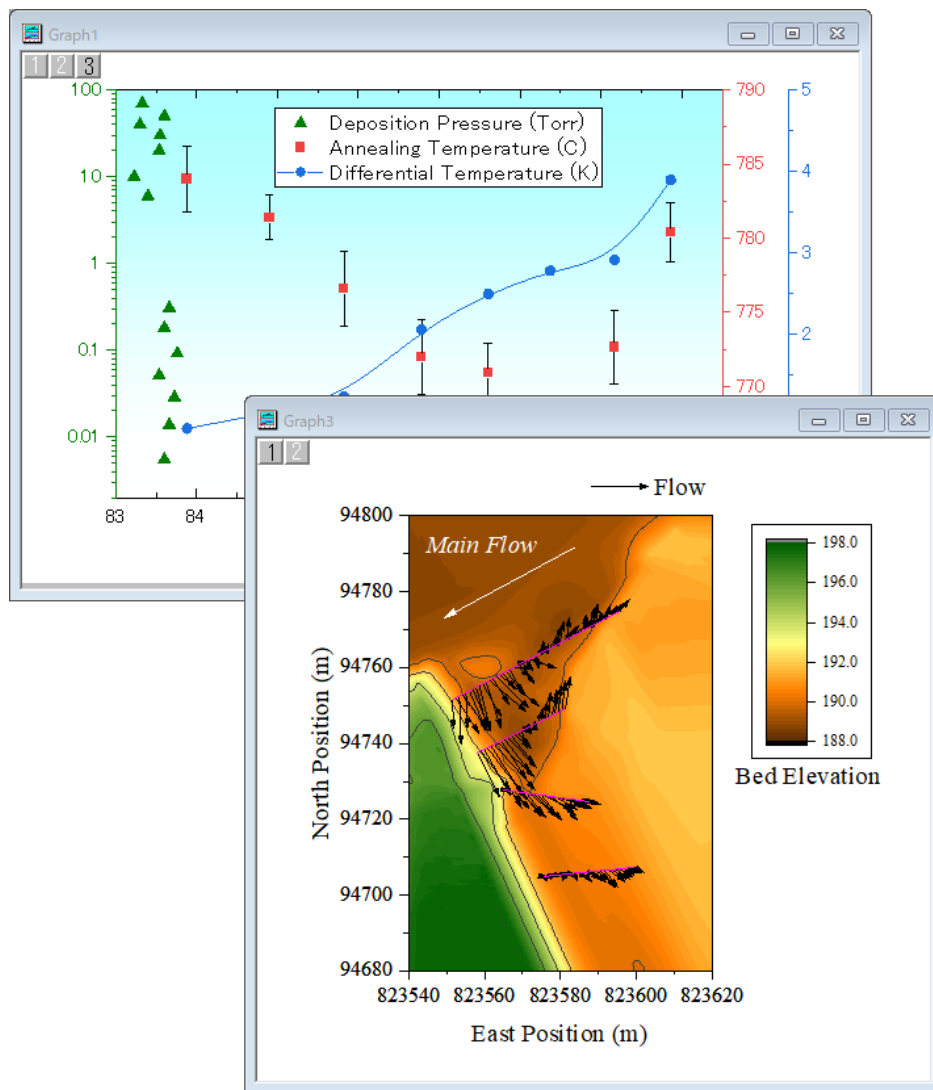


# ウェビナー動画

今まで開催したウェビナーの動画を無料で視聴できます。

- Originで多軸グラフを作ろう
  - Originで等高線/3D作図をしよう
  - Originで作成したグラフをきれいに出力しよう
  - Originの基本的なフィット操作を覚えよう
- …など続々公開中！

[こちらのページで視聴>>](#)



LightStone®

株式会社ライトストーン